

2023 年度「事業所向け」・「保護者向け」による自己評価に対する検討結果
(事業所名：ボワ・フルール【放課後等デイサービス】)

◎環境・体制整備

【事業所向け】

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答	改善目標、工夫している点など
2	職員の配置数は適切であるか	3	0	2	0	・ 職員の退職に伴い配置数が少ない曜日も存在しているが利用児童の人数や職員の勤務日の変更などで対応している。同時に職員の募集も実施中。 ・ 職員が足りない場合は他事業所から応援にきてもらう。 ・ マンツーマンで関わらないとならない児童が数人いる場合、職員数が手薄になることを感じるが他からのフォローの職員等に助けられている。職員人数を増やして欲しい。

【保護者向け】

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答	ご意見
2	職員の配置数や専門性は適切であるか	2 1	1	0	0	・ 手厚いですし、皆さん優しい人ばかりです。 ・ 職員の配置数は、とても手厚いです。どこの放課後デイも運営が厳しいので、人件費を掛けるのは大変ですが、ボワ・フルールは一人ひとりに寄り添う運営を常にされていて、信頼できるデイサービスです。 ・ 目の配れる人数の配置で、良く見て下さっている。 ・ 細かく対応してくれている。

・ 認識のずれ

- ・ 職員、保護者とも「どちらともいえない」「いいえ」という回答が一定数ある。適切な職員の配置数については配置基準以外の目安がないため、「何を以て適切とするか」は難しい部分ではある。活動内容、利用児童の特性や職員の退職などによって事業所側は職員数の不足を感じることはあると思われる。
- ・ 職員の専門性や保有資格については、明示をしていないため「どちらともいえない」という回答があるように思われる。

・改善目標・工夫している点

- ・職員数については、保護者会の資料に記入しお知らせを実施。実際の活動で足りているかという判断はむずかしいと思われるが、面談や自己評価等でも保護者から職員数不足を指摘される状況はなく、職員数が起因するような事故も発生していない。
- ・職員の配置や状況については、引き続き、保護者会等でお知らせをしていく。

◎適切な支援の提供

【事業所向け】

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答	改善目標、工夫している点など
26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	0	3	2	0	・保護者からの要望もない。

【保護者向け】

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答	ご意見
6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子供と活動する機会があるか	9	14	6	0	・放課後デイでは、必ずしも障がいのないお子さんと接する機会が無くても良いと考えています。 ・近隣の公園やその他様々な広い公園などに行って活動しているので、その様な場所で子ども同士、自然に関わる機会はあると理解しています。 ・療育なので障がいのないお子さんとの活動は必要ないと思います。 ・特に交流が無くても良いと思います。 ・別に問題はないと思います。

・認識のずれ

- ・もともと障がいのない子どもたちとの交流を求めている保護者が多いことが考えられる。保護者と職員間での認識のズレはないと思われる「どちらともいえない」「いいえ」の回答が多いが、放課後児童クラブや児童館などとの交流を「目的としていないこと」「求められていないこと」は確認されている。

・改善目標・工夫している点

- ・公園遊び、散歩などで積極的に屋外での活動を設定しています。公園にいる地域の児童との自然な関わりについては、適切に行えるよう支援しています。（挨拶や遊びへ参加の仕方、ルールがある場合にはルールの説明など）継続して取り組みます。
- ・感染状況も落ち着いてきているので、図書館や子どもセンターなど室内でも遊べる地域の施設を利用していきたい。

◎保護者への説明責任

【事業所向け】

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答	改善目標、工夫している点など
33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	0	0	0	

【保護者向け】

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答	ご意見
11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	18	4	0	0	・苦情などありませんが ・苦情を言ったことが今までなかったので分かりません。 ・対処してもらってます。

・認識のずれ

- ・苦情があった場合の相談や申し立てについては契約時に説明を行っている。苦情申し立ての流れについては、実際に行っていない場合は流れが分からないこともあるのではないかな。
- ・実際の苦情や、苦情申し立て後どのように改善したかなど、事例が周知されていないため、分からない人も多いのではないかと考えられる。
- ・相談や意見があった場合には、その都度対応しているため、苦情申し立て前の段階で改善、対応できていることが多い。

・改善目標・工夫している点

- ・苦情申し立て先は重要事項説明書への記載と説明とは別に、事業所内にも掲示している。
- ・保護者からの要望や意見、支援に対する意見などがあった際は、事業所で対応等を検討している。
- ・法人の苦情解決第三者委員を年2回実施しており、事業所で会った苦情等は報告を上げている。

◎非常時等の説明など

【事業所向け】

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答	改善目標、工夫している点など
39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	1	0	0	・避難訓練を年2回実施。災害時の備蓄食料の準備や非常用電源などの準備、研修を行っている。

【保護者向け】

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答	ご意見
16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	16	6	0	0	・訓練した事の報告があります。 ・定期的に避難訓練を実施しているかとは思っておりますが、実際はどうなのかよくわかりません。 ・分かりません。

・ 認識のずれ

- ・ 年間予定でスケジュールの提示や連絡帳などで実施を伝えてはいるものの、保護者の方は実際に見る機会はないこともあり、実施していることが伝わり切れていないかもしれない。
- ・ 訓練の設定期間中に利用がない場合もあるため、連絡帳等でも目にすることがなく、分からないことがあるかもしれない。

・ 改善目標・工夫している点

- ・ 避難訓練については1週間を通して実施することにより、より多くの児童が参加できるようにしている。また連絡帳にも実施の状況を記載している。
- ・ 地震想定、火災想定 of 2回は児童を含めた訓練を実施している。それ以外にも、職員としては送迎時の災害に対する訓練や、AED 研修、初期消火訓練などを実施している。
- ・ 法人としても広報誌で防災特集など事業所の取り組みを紹介しているが、HP等でも事業所ごとに実施の様子などを伝えていく。